

みんなが幸せになる

介護現場の
生産性向上の取組

-手法や実践、支援施策の紹介-



人口減少の中、介護の現場では限られた人数で専門性の高い介護サービスを提供しなければなりません。職員が介護業務に集中でき、いきいきと働くことのできる環境を作るため、生産性向上への取組は重要な課題となっています。

今年度の介護報酬改定で新設された「生産性向上推進体制加算」や生産性向上に向けた県の施策の紹介、実際の取組事例、生産性向上に資する機器やサービスに関する情報提供等を通じて、介護現場における生産性向上について考えていきます。

開催概要

- 日時 2024年10月21日(月) 13:30～16:30
- 会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 18階 セミナールーム
- 対象者 (1)医療・介護・福祉ロボット等に興味のある医療・介護・福祉関係者、大学、自治体等
(2)医療・介護・福祉ロボット等の開発に取り組んでいる方又は関心のある方
(3)あいちロボット産業クラスター推進協議会の会員
- 定員 50名(申込先着順、参加費無料)

※あいちロボット産業クラスター推進協議会
については裏面をご覧ください。

プログラム

※講演者の紹介は裏面参照

■ 講演 (13:30～14:15)

介護現場の生産性向上とテクノロジー活用のこれから

株式会社TRAPE 共同経営者 取締役CSO 山崎 和雄 氏

■ 事例紹介 (14:15～14:55)

① 生産性向上を実現するためのタスクシフティングの取組

社会福祉法人サン・ビジョン 介護老人保健施設グレイスフル春日井 介護長 脇田 弥勇 氏

② テクノロジー活用による満足度向上の取組

社会福祉法人さわらび会 特別養護老人ホームさわらび荘 副施設長 渡辺 憲博 氏
理学療法士 鳥居 浩平 氏

■ 施策紹介 (15:10～15:30)

介護テクノロジー定着支援事業及びあいち介護生産性向上総合相談センターの取組

愛知県福祉局高齢福祉課

■ ショートプレゼン (15:30～16:00) / ポスター展示 (14:55～15:10・16:00～16:30)

「眠りSCAN」
パラマウントベッド株式会社「見守りライフ」
トーテックアメニティ株式会社「介護見守りロボット」
エイアイビューライフ株式会社

※申込締め切りは 10月15日(火) まで!

詳細は裏面へ

■株式会社TRAPE

2015年設立。社名の由来は“これからの社会の土台(=台形 / Trapezoid)をつくる企業”という思いから名付けられている。ウェルビーイングに溢れた介護事業所を創出するために「生産性向上」「働きがい向上」「リーダー育成」の3つを一度に実現することができる生産性向上伴走支援サービス「Sociwell(ソシウエル)」を展開するほか、2017年の黎明期より日本の介護サービスにおける生産性向上の取組の中心的役割を果たし、介護事業所向け生産性向上ガイドライン作成など、国の施策づくりに深く関与。代表の鎌田氏は、厚生労働省の様々な生産性向上に関する様々な委員会の委員を務める。介護現場の生産性向上に関するセミナーの講演実績も多数。

■社会福祉法人サン・ビジョン 介護老人保健施設グレイスフル春日井

利用者様が自立した生活を営むことを支援し、御家庭への復帰、生活支援を目指している。一日も早く御家庭や地域社会で快適な生活が行えるように、一人ひとりの支援計画に基づいて、必要な医療・看護・介護・リハビリを行っている。利用者様と職員の笑顔が溢れる施設を目指している。

■社会福祉法人さわらび会 特別養護老人ホームさわらび荘

1977年に開設。緑豊かで閑静な住宅地に佇む、従来型多床室の特別養護老人ホーム。同法人グループの福祉村病院と連携を図り、入所後の生活を保障するほか、退院後の再入所率100%も実現。認知症の方へは、「認知症介護の三原則」により自立した生活の実現に取り組む。

パラマウントベッド株式会社 「眠りSCAN」



体動(寝返り、呼吸、脈拍など)を検出して、睡眠状態を判定する非装着・非侵襲のセンサー。マットレスや敷布団の下に敷いて電源を入れるだけで使用できて、身体に何も装着しないので、利用者様に機器の存在を感じさせずに自然な睡眠を計測できる。

トーテックアメニティ株式会社 「見守りライフ」



既存のベッドに荷重センサーを取り付けるだけで導入できる見守りシステム。居室の状態がリアルタイムに“見える化”されるため訪室判断ができ、職員の不安・負担を軽減。さらに、体重測定をベッド上で完結でき、介護ソフトへデータの取込も可能。

エイ アイ ビューライフ株式会社 「介護見守りロボット」



広角赤外線(IR)センサーを搭載し居室全体を見守ることができる「A.I.Viewlife」システムは、5つの機能(「カメラセンサー」「生体センサー」「ナースコール機能」「インカム機能」「防犯カメラ(共用エリア)」)を1つのアプリで使用可能。本システム導入が、介護現場の多くの悩みとその時間を減らし、ケアの質向上と生産性向上に導く。

あいちロボット産業クラスター推進協議会とは

ロボット産業を自動車・航空宇宙産業に次ぐ第3の柱として大きく育てるべく、産学行政が連携して競争力あるロボット技術・製品の創出を促し、開発と生産の拠点を形成するとともに、ロボットの活用による県内産業の高度化や地域課題の解決を推し進めることにより、ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地とすることを目的としています。

開発側・利用側・支援機関など、651社・団体(2024年8月末現在)の会員が入会しています。協議会の詳細や入会方法は、以下Webページを御覧ください(二次元コード参照)。
<https://www.pref.aichi.jp/sangyoshinko/jisedai/robot/council.html>



参加方法・申込

※申込締め切りは 10月15日(火) まで!

Web申込フォームによりお申込みください。

下記URLへアクセスし、必要な項目を入力し、送信してください。

https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=104614
(右の二次元コードからもアクセスできます)



参加証は発行しませんので、直接会場へお越しください。

(定員超過により参加をお断りする場合のみ、連絡いたします)

※フォームにアクセスできる環境にない場合は、問合せ先へ御相談ください。

■会場・アクセス

ウイंकあいち(愛知県産業労働センター) 18階セミナールーム

- 所在地 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
- アクセス JR名古屋駅桜通口から徒歩5分



問合せ先

■参加申込・実施内容に関すること

運営受託者: 合同会社OFFICE HARU
担当: 小野地(おのち)
メール: mail@officeharu.net

■事業全般に関すること

愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課 次世代産業室
ロボット産業グループ担当: 竹中、三輪
電話: 052-954-6352
メール: jisedai@pref.aichi.lg.jp